

取扱説明書

スイコータンク 取扱い・使用上のご注意

ご使用前に必ずお読みください。



北海道スイコー株式会社

ごあいさつ

このたびはスイコータンクをお求め
いただきまして、誠にありがとうご
ざいました。

お取付けの前に、この取扱説明書を
よくお読みいただき正しくお取付け
ください。

また、各々の項目の内容をよくご確
認のうえ、本説明書を大切に保管し、
ご不明な点がございましたら当社営
業部までお問い合わせください。

営業部

目次

取扱い上のご注意

- | | | |
|----------|---------------------|----|
| 1 | 注意事項（お願い） | P1 |
| 2 | 到着時のご注意 | P1 |
| 3 | 据付け時のご注意 | P2 |
| 4 | フィッティング・フランジ組立てのご注意 | P2 |
| 5 | その他の部品取付け | P3 |
| 6 | 融着タンク取扱いのご注意 | P3 |
| 7 | タンク廻り配管時のご注意 | P3 |

使用上のご注意

- | | | |
|----------|-----------------|----|
| 1 | 水張りテスト | P4 |
| 2 | 最高使用温度・エアー抜き | P4 |
| 3 | ローリー車からの充填・火気厳禁 | P5 |
| 4 | 仕様条件変更・タンクの保守点検 | P5 |

保証規定

保証期間と保証範囲

■保証期間

納入品の保証期間については、納入日より1ヶ年と致します。

■保証範囲

上記保証期間中に弊社の設計、製作上の欠陥により問題が生じた場合は、無償にて修理又はその代替品を速やかに納入いたします。

但し、次に該当する場合は、この保証範囲から除外させていただきます。

- (1) 天災地変、不可抗力、取扱説明書に則さないご使用により欠陥が生じた場合。
- (2) 製品の誤使用や取り扱い不備、使用者の故意・不注意による故障又は損傷の場合。
- (3) お客様自身による修理や改造に起因する故障又は損傷の場合。
- (4) その他弊社の責任によらない故障又は損傷の場合。

1 注意事項(お願い)

大型タンクは基本的にはチャーター便にて、お届け致します。現地での受渡しは車上渡しとします。

スイコータンクの部品取付けは現地組立て方式です。

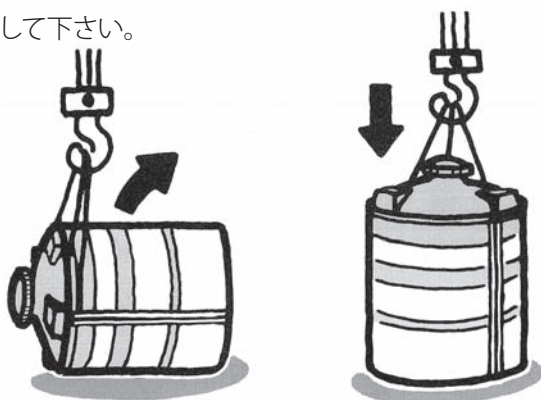
- レッカー車、ユニック車の必要がある場合は事前にご連絡下さい。

部品類は別梱包またはタンクの中に入れてあります。

■横積みでお届けする場合

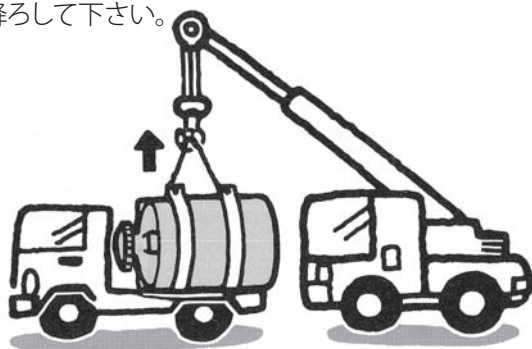
(8,000ℓ以上のタンク)

補強枠付きタンクの荷降ろしは、補強枠の締め付けボルトの2ヶ所以上のボルトにフックをかけて、吊り上げて降ろして下さい。



■枠なしタンク場合

ULタンク(枠なし)は胴体に帯バンドを巻いて、吊り上げて降ろして下さい。

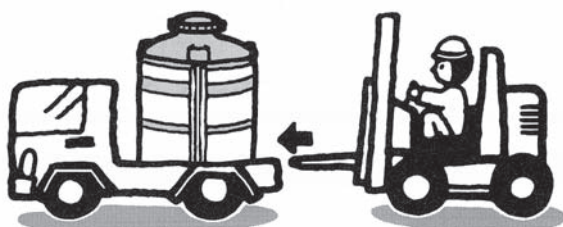


■立積みでお届けする場合

(6,000ℓ以下のタンク)

補強枠付きタンクはフォークリフト、レッカー、ユニック車などで降ろして下さい。

降ろす方法は横積みタンクと同じ要領です。

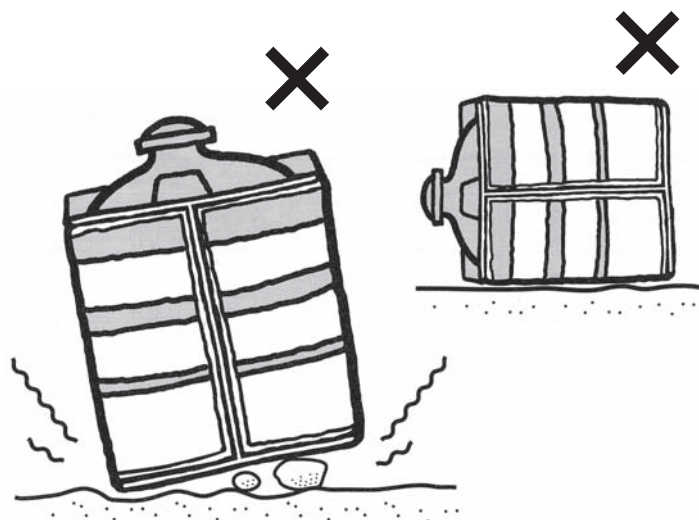


2 到着時のご注意

■タンクの納入後

タンクは突起物のない平面に降ろし、立てて保管して下さい。横置きのまま放置しますとタンクが転がり、取付け部品を傷つける恐れがあります。

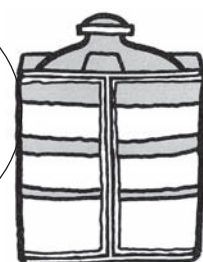
タンクを動かす時、落としたり鋭い突起物に当てないで下さい。特に取付け部品を傷つけないように注意して下さい。



■付属部品の確認

タンクの納入時、付属部品類は別梱包になっていますのでご確認下さい。

一部タンクの中に部品を入れて納入する場合があります。

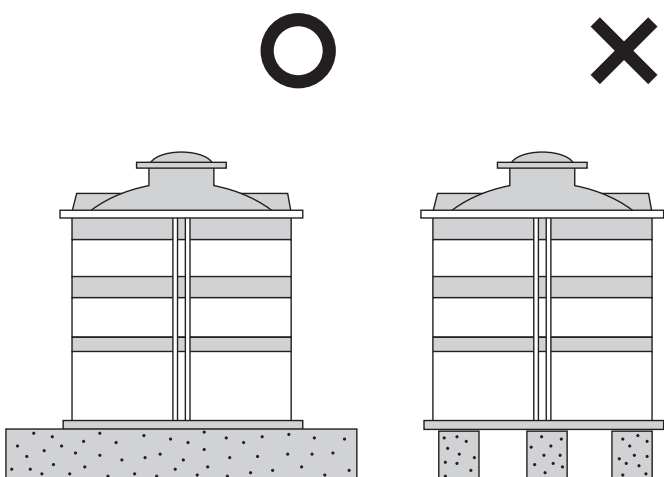


3 据付けのご注意

■据付け時

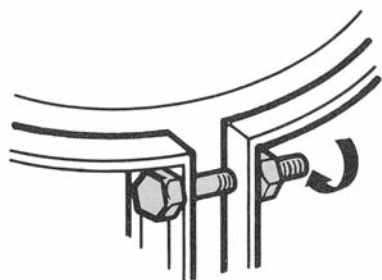
タンクの据付け基礎は全面支持にしてください。タンクを基礎上に設置する際、基礎面に鋭い突起物や石ころなどがないことを確認してください。

土中での埋込み使用は、土圧によりタンク変形が生じますのでご注意ください。



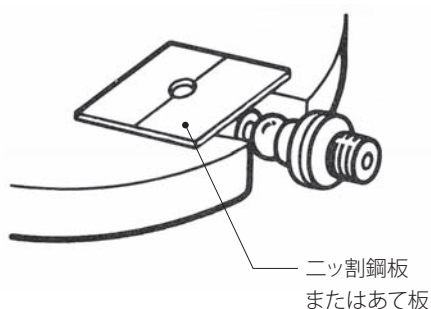
■補強枠付きタンクの場合

タンク金枠の締めつけボルトのゆるみを点検してください。



■タンク低部にドレン口がある場合

その部分に鋼板またはあて板を敷いてください。

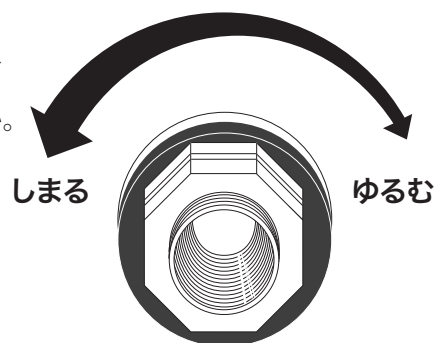


4 フィッティング・フランジ組立てのご注意

フィッティングを取付けて出荷した場合、輸送中にナットがゆるむことがありますので、組立て、配管前に必ず確認してください。

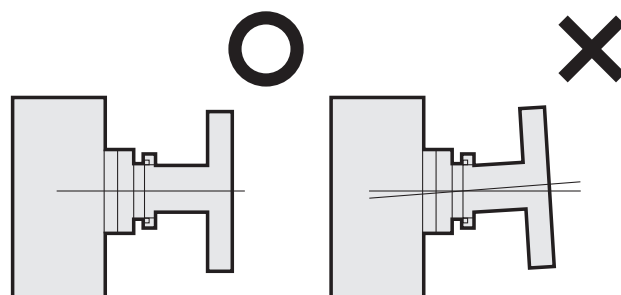
■フィッティング

ナットは、左方向へ手で締めた後パイプレンチで締めてください。ナットは、ポリエチレン又は塩ビ等の樹脂製品ですので、締めすぎるとネジ山がとぶ恐れがありますのでご注意ください。



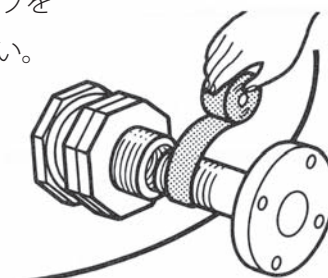
■フランジ

フィッティングにフランジ等の取付けの際は、正しい角度でねじ込んでください。フィッティングにフランジ面のパッキンが全面につく様に締めつけてください。斜に締めすぎると液漏れの原因になりますので、ご注意ください。



■シールテープ

ツバつきフランジつき短管のネジ部にシールテープを巻いてねじ込んでください。



5 その他の部品取付け

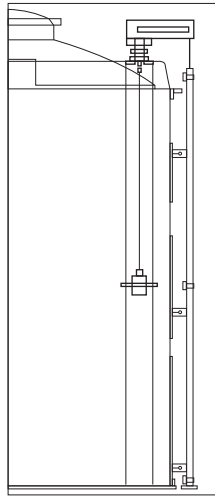
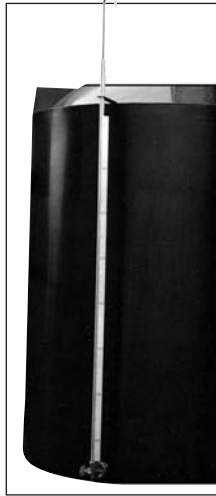
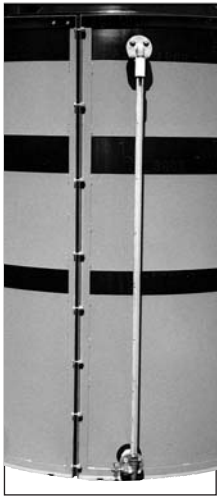
特殊な部品はご相談下さい。

- 入口配管(フランジまで)
- エア抜き



液面計

- 保護管付き
- オープンタイプ
- フロートタイプ



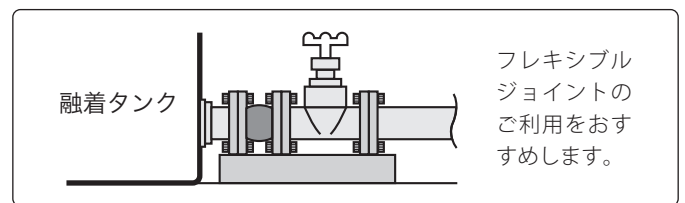
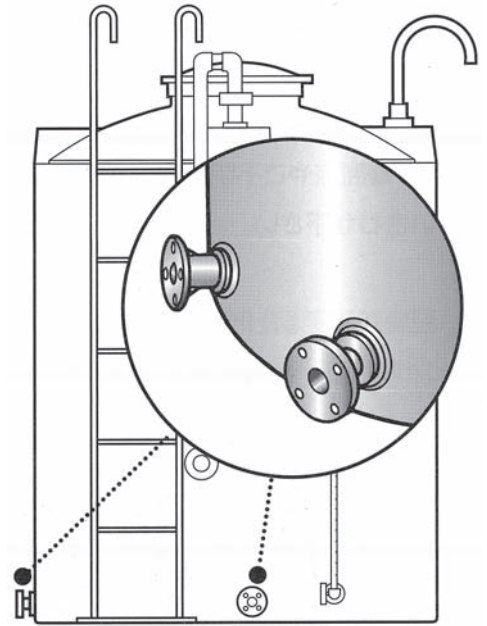
梯子

- MC用梯子
- UL用梯子
- プロテクター付梯子



6 融着タンク取扱いのご注意

融着フランジと相フランジの締め付けにおいては締め過ぎないように充分ご注意ください。
締め付け過ぎると液濡れの恐れがあります。配管の際には接続部に力がかからないようにフレキシブルジョイントのご利用をおすすめします。

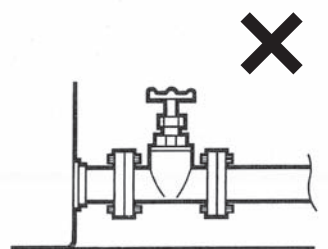
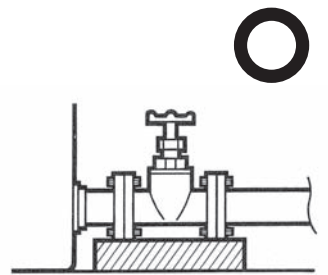


7 タンク廻り配管時のご注意

■フランジ接続

配管時にフィッティング接続部に負担かからない様に注意して下さい。

フランジ接続の際は相互の中心を出して取付けて下さい。フランジ締めつけボルトの締め具合は、全部が平均になる様に締めて下さい。サポート支持については、配管に無理のない様に取付けて下さい。

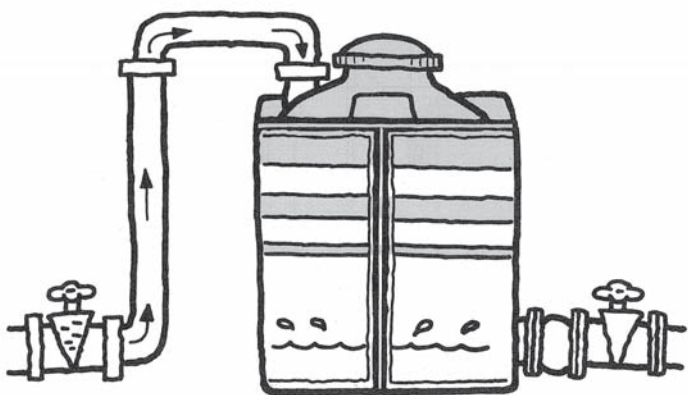


1 水張りテスト

タンクの据付けに必要な部品の組立て、配管は終わりましたでしょうか。今一度、タンク据付け上の注意事項を取扱説明書で再確認の上次の手順にお進み下さい。

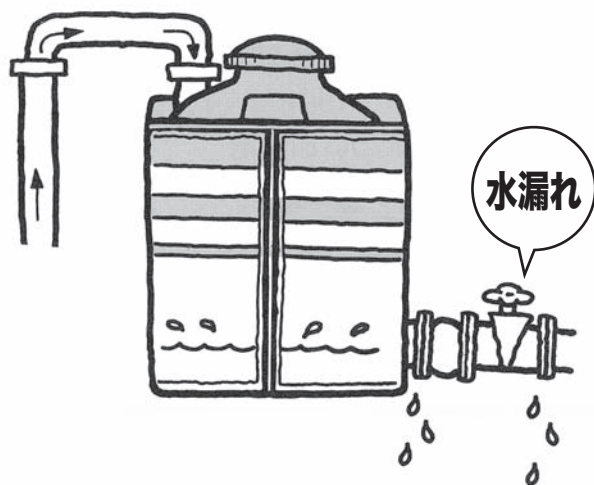
尚、疑問点やご不明な内容がありましたら当社営業部にお問い合わせ下さい。

配管が完了した時点で必ず水張りテストを行い、フィッティング接続部、その他から水漏れが無いことを確認して下さい。



水張りテストに使用した水は完全に除去し、拭き取った後使用して下さい。薬品によっては(特に硫酸などは)、残っている水と反応して発熱を起こし、タンクが変形、あるいは溶けて穴があくなどの大事故につながる可能性があります。

水漏れが発生した場合、パッキン部分か、ネジ部分が発生箇所を確認し、増締め等の処置を行って下さい。水漏れが止まらない場合は当社営業部にご相談下さい。



2 最高使用温度 エア抜き

■最高使用温度

最高使用温度は水を基準としておりますので、実際の使用に際しましてはポリエチレンの耐薬品性表でご確認下さい。

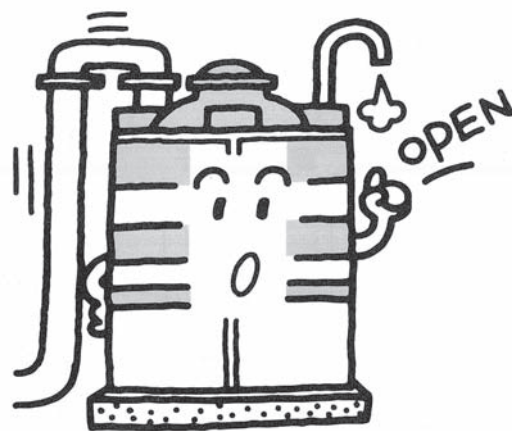


- 補強枠タンク.....60℃
- ポリエチレン単体タンク.....40℃

一般に希釈する場合は、まずタンクに水を入れ、その後少量づつ薬液を注いでいきます。

■エア抜き

エア抜きは開放にしてタンクに加圧、減圧をかけないで下さい。密閉状態での加圧はタンクが膨らみ破壊に、また、減圧は天板の落ち込みや胴体のへこみなどの変形が起り破損の原因になります。



- 加圧..... 100mmH₂O
- 減圧..... 50mmH₂O

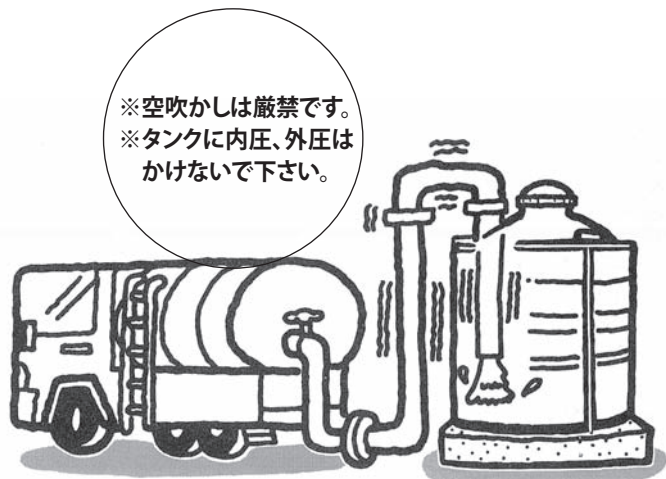
以上の圧力がかからないように配慮して下さい。

3 ローリー車からの充填 火気厳禁

■ローリー車からの充填

エア抜きは必ず開放にして、水封等の密閉状態にしないで下さい。

尚、塩酸等のように発生したガスがそのまま大気中に出る場合は、ガス洗浄装置等を取付けて処理して下さい。

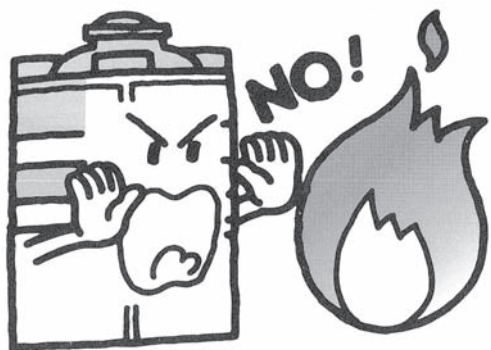


ローリー内の残液が少なくなると、空気が混入し始めローリーホースが振動してきますので速やかにローリーの元バルブを一旦締めて、コンプレッサーを停止し、その後元バルブを少しずつ開放にして残圧で残りの液を送るようにして下さい。

コンプレッサーの空運転を続けると急激な圧力でタンクが変形し、天板が破壊することがあります。

■火気厳禁

タンクはポリエチレン製ですので火気を近づけないで下さい。



補強枠に溶接加工をする場合はタンク本体から外してから行って下さい。

4 仕様条件変更 タンクの保守点検項目

仕様条件を変更する場合はご連絡を

使用条件(薬品種類、濃度、比重、液温)を変更する場合はあらかじめ弊社にご相談下さい。耐薬品性、補強枠等の安全性確認を当社が致します。

■タンクの保守点検

タンク本体及び配管、取付け部品の点検を実施して下さい。異常が発見された時は至急弊社にご連絡下さい。



保守点検作業の注意事項

■転落のご注意

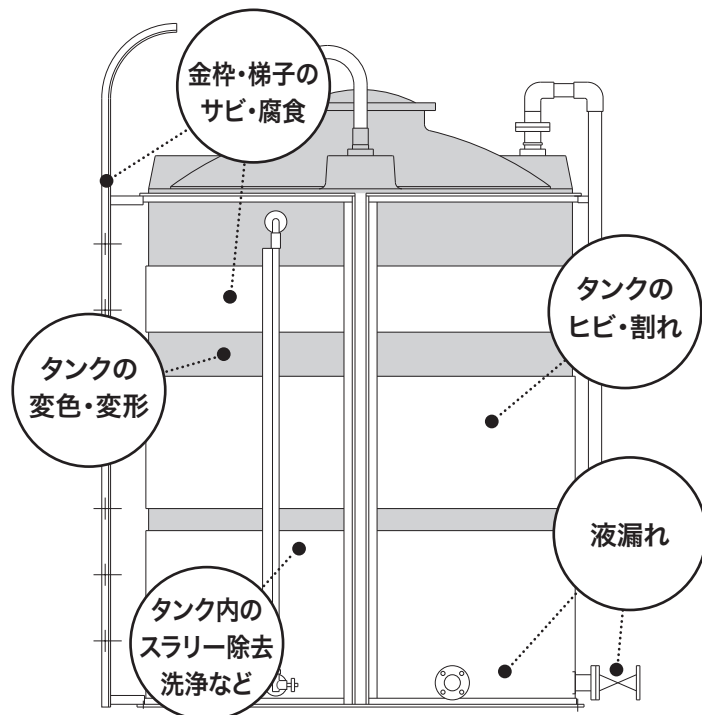
●タンク天板上に乗る時には、命綱を付け墜落を防止する措置をして下さい。

■酸欠のご注意

●タンクの中に入る場合には、タンク内を十分に水洗して下さい。そしてタンク内の換気を行い酸欠計を使って安全を確認して下さい。

■二人作業の実施

●タンクの天板上に乗るなどの高所作業時及びタンクの中に入る時は必ず監視人を配置して下さい。



回転成形のパイオニア

HOKKAIDO
SUIKO



北海道スイコー株式会社

■代理店

本社・営業部 〒063-0051 札幌市西区宮の沢1条3丁目4-12
TEL 011-398-5510 / FAX 011-398-5522
<http://www.h-suiko.co.jp/>